

ボバース関東ブロック小児領域講習会レポート

2017年1月28日(土)、「ボバース関東ブロック小児領域講習会」が当院にて開催されました。関東ブロックの研修会だったのですが、栃木、山梨、千葉など広範囲から、なかには宮城からの受講生もいました。また今回は「脳性麻痺児の身体図式と視知覚認知の発達」というテーマであったためか、OTの受講生の割合が多いのが特徴でした。季節柄、体調を崩してキャンセルとなる方も続出し、29名の受講希望者がいましたが当日は21名という人数で行われました。

午前中に講義とデモンストレーションが行われました。デモンストレーションでは、セラピーの前後で視知覚の変化をみていきました。セラピーでは体幹へのアプローチが中心で、直接的な上肢操作の練習を行わなかったにも関わらず、眼球運動や運筆動作が改善していました。セラピーによって姿勢が安定しミッドラインができたことで、眼球運動や運筆動作において正中線を超える動きが出てきました。セラピストは子どもに、左右の脳が統合されていくために必要な経験を提供できるということであり、ファシリテーションは運動の質を変えるだけでなく、それによって得られる感覚情報の質・構造を変え、組織化することで機能に結びつけられるのです。



デモンストレーション後はグループワークを行って、姿勢・視知覚・運動がどのように変化したかをグループ毎にまとめました。その後、VTRや写真などでデモの様子を振り返りながらグループ発表し、いろいろな意見を聞いて理解を深めていきました。最後にハンドリングの実習を行い、足底から筋を活動させ連結させていくことによって姿勢が安定することを体感してもらいました。

あつという間に時間が過ぎ、もっと時間が欲しい!との声があちこちで聞かれました。子どもの感覚情報入力を変えていくことによって姿勢や運動、視知覚認知も変化する、セラピーの醍醐味を感じさせてくれた講習会だったのではないのでしょうか。

講習会終了後にいただいたアンケートでの受講生の声を一部紹介させていただきます。

- ・講義→デモ→クリニカルリーズニング→実技と内容を確認しつつ進められてとても理解しやすかった。
- ・人が成長していくことに関わっている上で、運動面だけに着目せず「視知覚・認知の発達」の大切さを再確認することができました。
- ・流れもテーマにそっていきやすいと感じた。前後の写真とVTRは振り返るときに視覚的に確認できてよかった。
- ・あつという間だった。講義・デモ・実技の三点セットはとてもうれしいです。
- ・ボバースの勉強会に初めて参加させていただき、講義だけでなくデモやハンドリング等実技もありわかりやすかった。
- ・治療デモが長くとれていてとても参考になりました。実技がもう少しあると嬉しいです。
- ・ちょうどよかった。デモのあとすぐにグループワークがあったのでとても話がしやすか

った。OTの方からの視知覚の解説もあり、わかりやすかった。

・運動が変わることは知覚が変わることであり、行動が変わることだということが理解できました。筋活動の大切さがわかりました。

・視知覚認知と運動の関係性を整理できました。

・皮膚からの情報が入るのがどう大事だったかがすごくわかりやすかった。

・視知覚と触覚のつながりがわかった。

・面白いテーマでした。姿勢が変わると機能が変化するということを講義→デモで伝わりやすかったです。

・セラピー後の変化がみられてわかりやすかった。

・姿勢が変わることで視知覚変わることがみれて勉強になった。

・治療前後の比較やクリニカルリーズニングをしたことで自分の見えたところや評価の考えをまとめられた。

・最初と最後の視知覚の評価があり、姿勢と視知覚のつながりがみれました。

・PVLのケースを担当することがあるので、Mid Lineを意識した治療などを取り入れていきます。

・感覚が正しく入れられると身体イメージがかなり変わったのが実感できて楽しかったです。お子さんに楽しく運動できる感覚を伝えられるようになりたいです。

・視知覚についてPTとしてもう少し介入していければと思いました。

・筋の状態から感覚・視覚まで、注意してみていくことがたくさんありますが、一つ一つ確認していきたいと思います。

・骨盤の選択的な動きを出すハンドリングに活用できそうです。

・斜視のお子さんは多いので使ってみようと思います。

・代償的、ショートネスをとらないとstabilityにつなげられない。大事なことが理解できた。あきらめずにしっかり長さが出るようにしていきたいです。

・PTの自分のやっている治療が、机上の活動、特に眼球運動に変化をもたらすことができるということをOTとも共有したいです。

・筋の長さの出し方など直接教えてもらえて勉強になりました。ハンドリングの時間が足りなかったです。

・グループでの話し合いは、いろいろな人の意見を聞くことができ、自分の足りないところを再確認できます。ハンドリングも我流になりがちなので、きちんと学ぶことは大切だと感じています。

・職場環境により、一人一人のお子さんの身体状態や動作などを評価しディスカッションする場がないため、このような研修会に参加して、他施設のセラピストの方々がどのように行っているのか知る等、大変有意義な時間でした。もっと多くの研修会に参加していきたいと思います。

・視知覚というものの理解が深まりました。(まだまだですが) 視覚だけではなく固有・触覚の合わせ技でないと情報処理が不十分と感じました。促通には感覚入力が必要ですが、きちんと神経回路・エリア・閾値など勉強し、より効率のよいアプローチを考えないといけないと思いました。大変勉強になる一日となりました。臨床で生かすとともに、若手の方々へきちんと伝えていきたいと思います。ありがとうございました。

・いつも素敵な研修企画をありがとうございます。どうしてもPTとして苦手意識のある視知覚のテーマ、よかったです。

当院では毎年各種講習会を開催しております。このレポートを読んで興味を持たれた方はぜひ次の機会に受講していただけたらと思います。スタッフ一同お待ちしております。